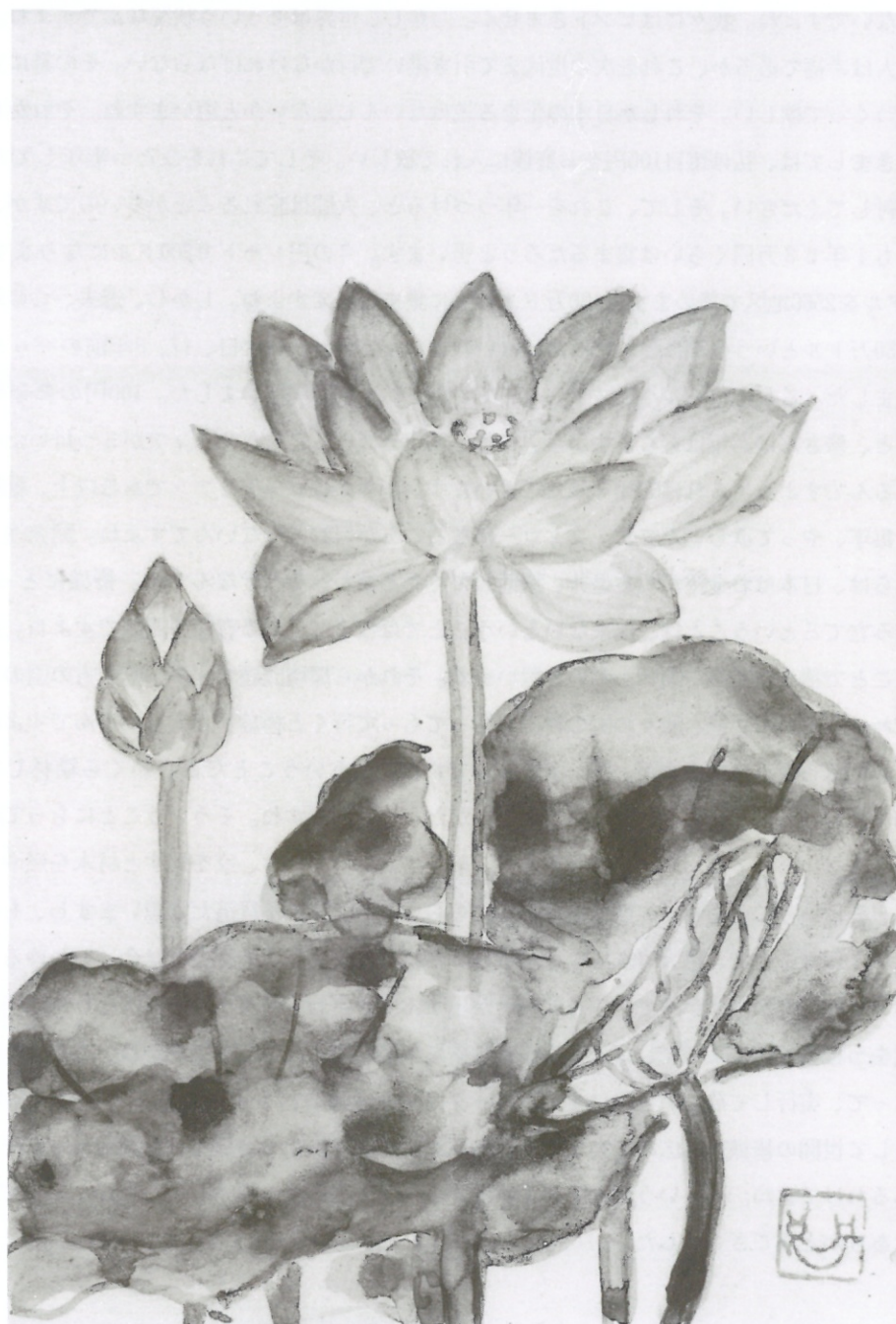




三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日
1991. 8 . 6
累計 No 231
当年 No 6

会長／山上 茂夫

幹事／堀川 正幸

SAA／河井 増雄

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： 橋本 力ガバナー公式訪問 100%出席例会

出席： 本日の出席 52名中47名

先週の出席率 52名中49名 94.23%

7月の出席状況 会員数 52名 例会数 5回 平均出席率 91.92%

先週のメークアップ： 7月31日 三条RCへ 村山誠一君 落合益夫君

8月4日 新潟県IM打合せ会へ 梨本清一君

5日 三条南RCへ 吉川吉彦君 馬場直次郎君 加藤英男君

6日 北記帳 羽賀一夫君

ビジター： 三条RCより 加藤紋次郎君 大谷幸平君 小林敬典君

会長挨拶： 山上茂夫

本日は橋本ガバナーをお迎えし、又山岸分区代理をお迎えしての例会でございます。お天気も昨日は本当にびっくりするような急な雨になってまいりまして、せっかくのお祭りも充分にお楽しみいただけなかったのではないかと考えております。今日は幸いすっかり晴れまして、それも花火ということで今夜にぎやかに三条のお祭りを楽しめる、そういうお天気になってまいりました。これもひとえに皆様のご精進の良さだというふうに感じております。今朝ガバナーをお訪ねいたしました、いろいろお話を承ってまいりました。私達が今直面している問題といたしましては、若い人達に対するしつけの問題、それから自分の出来る奉仕を何が出来るのか探しながら気楽に楽しく奉仕をやってゆけばいいのだということでもございました。その他にもたくさんロータリーの心髄にふれるお言葉を賜わりましたが、それぞれ受けとる受けとりかたは皆違っているんだと思っております。それぞれが自分の受けとめかたによって、自分の器によって、それがどういう実のあるものであるか、それを実のある豊かなものにするためにはやはりそれぞれが自分の気持を豊かにして、そして人のお話も良く聞き、先輩の考えをしっかりと受け継いで次代に渡さなければいけないというお話だと私は理解いたしました。さらにこれから協議会ということで微に入り細に渡りご指導い

ただけるものと思います。本日はガバナー、分区代理、大変ご苦労さまでございます。又長時間ではございますけど、我々、北クラブの若い会員に対しまして、又クラブそのものに対しまして充分なるご指導ご鞭撻をお願いしたいと思います。簡単でございますけど時間でございますし、ちょっと北ロータリークラブの今までやってきたことで、会員がひとつつけとめながら、ひとりの会員としてロータリアンとして奉仕をしているということをご披露申し上げたいと思います。たしか88年度だったと思いますけど梨本会長の時代それから平松会長の時代でございましたが、ジャイカ作戦ということが行なわれました。これは今までロータリーが箱ものをあるいは財物でいろんなモニュメントをつくる、そういったことに協力をして、あるいはそういったことを功績として活動しておったものが、これからは違う視点で中身を充足させるような、あるいは人間を豊かにさせるような教育でなければいけないのではないかと、そういう奉仕でなければ本当の奉仕につながらないのではないかとというようなことから国際交流を含めまして外国の方をお呼びして各会員のご家庭に宿泊をしていただいて理解しあった、そういうようなことで大変成果を上げた事実がございます。それは2年間つづきましたが、その後、会員が個人的にその精神を受け継いで、今年もホームステイが行なわれたということをご報告申し上げたいと思います。会員の吉川さんのお宅に今年も7月23日から7月27日まで、おひとりの方が宿泊をされて会員のご家族が皆で接待をされたということでございます。これは梨本、平松会長時代のことを受け継がれて真のロータリアンが見えないところで成長しておられる、そして立派な奉仕をしておられるということでございます。そういうことも若いクラブではございますけど、ひとつひとつ出来ることからやっていきたいと考えております。大変簡単なおあいさつでございますけど開会のごあいさつにかえさせていただきます。どうもありがとうございました。

幹 事 報 告： 堀川幹事

◇「三条夏まつり実行委員会」委員承諾の礼状が届いております。

◇ダムダム'91実行委員会よりパンフレットの送付がありました。

◇三条クリーン協力議会より第3回担当学会議開催のご案内

日 時 8月9日(金) 12:00～

会 場 三条商工会議所

◇原 猛パストガバナーより前会長・幹事宛礼状が届いております。

◇1991～92年度地区大会事務局開設のご案内

所 在 地 〒373 群馬県太田市飯田町 584

群馬銀行太田支店内

太田R C大会事務局

◇1991～92年度国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所より挨拶状とお盆休みのご案内

日 時 8月14日(水)～16日(金) お盆休み

◇例会変更 燕 R C 日 時 8月15日(木) お盆につき休会

である以上、世界の子供達に目をむけなくちゃいけないと思います。国際協議会に行って、私はちょっとピントが合わないところがあったんですよ。なぜなら、文盲と飢餓を追放と言っているんですから。日本人、特に新潟の人はうまい米をたらふく食べているわけですから飢餓なんて言っても分からないですよ。我々にはピントきません。しかし、世界はそういう状況なんですよ。いかに日本人は幸福であるか、これを次の世代まで引き継いで行かなければならない。その為に立派な人間をつくって欲しい。それしか日本の生きる道はないんじゃないかと思いますね。それから、財団につきましては、私は毎日100円をお賽銭に入れて欲しい。そしてこれをひとつ半年してたまったら寄付してください。そして、これを一年つづけると、人間は忘れることが多いのですが、それにしても1年で3万円くらいは集まるだろうと思います。今の円レートで200ドルになります。この200ドルを2560地区で集めると100万ドルは楽に集まるんですよ。しかし、過去、この地区において50万ドルという金額に達したことはないわけなんです。私は今日、17、8年前のバッチをつけてきました。これはポールハリスフェローですが、私は36万円払いました。100円の募金をつづけますと、皆さんは30年はもちますから、これを30年つづけると皆がサフィアが5つ付いたバッチがとれるんですよ。これは6000ドルでございます。皆さんはロータリアンである以上、継続して毎年、毎年、やって欲しいんです。フェローになることが目的ではないんですよ。開発途上国の人達からは、日本はお金持だから是非、援助してくれと言われるわけなんです。皆様にとって100円を積み立てるということは、出来ないということではなくて、やる意志の問題ですよ。是非そういうことで積み立てをお願いしたいと思います。それから環境問題ですが、南の方の国のガバナーに言わせると日本が皆、我々の国の材木を切ってもって行くと極論する人もいますよね。紙を使い、材木を使うのは日本が一番、多いそうですね。こういうことだと、いくら植林しても30年、50年しなければ使いものになりませんよ。だから、節約ですね。そういうことにもって行かなければならないんじゃないかと私は考えます。紙を無駄に捨てたり、家を壊すと材木を燃やしていますが、そういうことをせず、節約を旨としてもらいたい。実に不経済だと思いますし、もの大切にしないということで、粗大ゴミですとかいろいろ出てきますし、大都会では今、いわゆるゴミ戦争なんですね。誰が出すかって、みんな我々が出すんですよ。我々、ひとりひとりが本当に反省して気をつけることによって、ゴミなんかたちまち半減するんじゃないですかね。そのようにお考えになって、実行して欲しいと思います。ロータリーは理論を言う場所ではなくて実行する場所です。そして世間の皆様方に広めていく責任があるわけです。少くも皆様方は社会のリーダーのひとりであるわけですね。そういうわけでございます。ちょっと時間が超過しましたが、これで終わります。ありがとうございました。

8月13日例会： ロータリーを知ろう第2回 私とロータリー 平松前会長

8月20日例会： 地域社会を理解しよう第2回 三条青年会議所理事長 島田幸廣